



着るぎと装よそおうのう違い



↑以前のほめ達！さん



↑今のほめ達！さん

一般社団法人 日本ほめる達人協会
西村 貴好 理事長
通称 ほめ達！さん

→ Your branding イルサルト流！ 自分ブランディング 基礎講座

“着る”のではなく“装う”こと！
圧倒的にインパクトが変わってきます！
この、ほめ達！さんのように。



↑ほめ達！グッズ

似 ているようなこの2つのコトバ、この違いをまずは認識して欲しいのです！

着る ↓ 暑さ寒さから身を守る事
装う ↓ 自分が何者かを示すために
衣服を纏(まと)うこと

実はこの事を教えていただいたのは私が師事をさせて頂いているフアッションプロデューサーの鴨原弘子先生なんです。先生から学んだメンツをさらに詳しく説明します。

服は言わばベクトルボトルのラベルの様なもの。ラベルに何も書いていなかったら選ぶことが出来ません。その中身が一瞬で何かを伝えるためにデザインされている。服に置き換えると「デザイン＝装い」ということ。つまり、自分をビジネスの場における商品として客観的に分析し、そのデザインとしてどんな服装で在れば市場価値が上がるのか？つまり、

1. 自分が何者であるかを言語化し、スタイリングのキーワードを決める。
2. それを服で表現すること。

本来衣服というものは、その人の心情や思想を表現するものでもあるのです。古来日本で

何故同じ格好をしているのかというところの方が覚えてもらえるからなんです。毎回毎回違う格好をしているとなかなか覚えてもらえません。売れてしまえば何を着ても認識されますがそれでは何かアイコンになるようなものがないと認識してもらえません。

これはビジネススタイリングでも全く同じ。内面(志、在り方)に相応しいアイコン的なスタイリングをする事で相手の記憶に残し、自分ブランドを確立する事が可能となります。

イ ルサルトのお客様でこの「ブランド人にとつての身だしなみ」を意識され仕事でも大きな成果をあげていらっしゃるのが一般社団法人日本ほめる達人協会西村貴好理事長なんです。西村貴好理事長は目の前に起こる出来事や出会う人に対して独自の視点から価値を見つけ出しほめる達人、通称ほめ達！さんなんです。

人を幸せにする人が、もつとも幸せになる！というモットーで日本中にほめる達人を増やし、日本の心の内戦を終わらせるという大きなミッションを掲げ日々活動をしていらっしやいます。(心の内戦とは自殺者が年間3万人を超える異常な状態の事)

どう装うかの前に大事なのがこのどう生きるかの部分。ほめ達！さんのブランドを視覚化する上でのキーワードを鴨原メンツドを用いて言語化してみると

「威厳」と「寛容」・「包容力」・「愛情」
情熱家・共感・笑顔の奥の凄味
(悲しみを知る)・安心感
「ほめ達！」のそばにいると
自分が凄くなった気がする。
ほめられた方が嬉しくなる人間力がある。
人生という旅の最高の現地ガイド

などがあげられます。このキーワード出し

は「衣に魂を込める」と言う概念があり、「装うことによりさらに精神力を高める」という衣装文化を大切にしてきました。「その他大勢」から抜け出すためには中身をより鮮明に伝える「見た目」が必須で自分の商品価値を上げるためにはラベル(服装)にもシナリオが必要なのです。このように、服装を戦略的に考え、スタイリングを言語化出来るという意味においては鴨原先生の右に出る方はいません。

では何故「装うこと」が大事なのかというと、ビジネスの現場では、よれよれのスーツを着ている人より、サイズの合ったスーツを着ている人のほうが信頼されますし、恋愛の場面では、清潔でフアッションナブルな服を着ている人のほうがモテるのです。

日本人男性は洋服選びが苦手な人も多く、そんな自分を肯定するために「人は外見より中身だ」と言う人もいるのですが、着ている洋服で印象が変わるというのは、紛れもない事実なのです。

服部幸應さん、江原啓之さん、スギちゃん、キンタローなんかを思い出してください！彼らはいつも同じ格好をしていますよね？

が非常に重要で有効なスタイリングが出来るかどうかはこのキーワード出しの部分にかかっています。コトバを生業にしていられるほめ達！さんの場合は、表現力が豊かでボキャブラリーも豊富なので非常にスムーズに進める事が出来ました。

そして次にこのキーワードを体現出来るに相応しいスタイリングを考えていきます。まず「威厳」を感じさせるにはやはりスリッピース。スーツの源流とでも言うべきスリッピースを使うことによって「威厳」を感じさせる事が出来ます。そして「寛容」「包容力」といった部分では色の使い方がポイント。あまり濃すぎる色だと威圧感を与えてしまい強くなりすぎてしまうので若干明るめの紺を使う事で優しい部分を感じさせる事が出来ます。そして最後に愛情、これはネクタイやポケットチーフといった小物使いにかかっています。ここでは圧倒的な愛情を印象づける「オレンジ」を効果的に使いました。又ポールベンヤカフリンクスにオレンジを使っていることでほめ達！さんのイメージカラーとしてより覚えてもらいやすいアクセントになっています。

右 ページ上の写真が今のほめ達！さん、そして中央の写真が以前のほめ達！さん。相手に与える印象やインパクトが全然違うと思いませんか？

ほめ達！さんからも「身を包んだ瞬間、ほめ達！のパワーがさらに倍増した気がします。ドラクエやファイナルファンタジーでもなかなか手に入らない、伝説のアイテムゲッツト！ですね。在り難い。使命に向かって、また道が開けてきました。末廣さんから話していない時間でも、伝え続けるそんな魔法のスーツをいただいで、「ほめ達！」の伝える力は、さらに強くなります。ありがとうございます。」そんなおコトバをいただきました。感謝！！